

～ゴルフ場の生き残りをかけて・
今我々がなすべきこと～

ゴルフ場におけるサステナビリティ「組織の持続性」講習会

ケーススタディ



平成30年2月5日(月)
大相模カントリークラブ

ターフコンポスターによるコンポスト化



コース内管理作業で発生する刈り芝草や樹木の葉を原料として天然有機コンポストを生産



コンポスト製造工程



炭焼き施設



間伐・剪定にて発生した樹木を有効利用して木炭を生産



剪定・伐採木によるチップ化



ISO14001 環境マネジメントシステム

国際的な認証であり汚染防止と環境保全を目的とし、
日本国内で2.5万、世界で35万を超える企業に承認取得
され、自発的かつ継続的な改善活動が求められます。

P D C A サイクル 計画(Plan)・実施(Do)・点検(Check)・行動(Act)
各企業が持続的に改善して行く事を狙いとしています。



クラブ全体の環境目的・目標(2017年度)

目標	具体的施策
1. エネルギー資源の節約による地球温暖化防止 ・電気ー二酸化炭素排出量 0.5%削減 ・ガソリン・軽油ー二酸化炭素排出量 0.5%削減 ・プロパンガスー二酸化炭素排出量 0.5%削減	・エアコンの適温使用、不要照明の消灯、冷凍・冷蔵庫内の整理など ・アイドリングの停止、急発進・急加速の禁止、省エネ運転など ・ボイラー運転時間の調整、温水温度の管理
2. 排気ガス・排水管理の徹底による公害の防止 ・ボイラー煙突からの排ガスの適正管理 ・合併浄化槽排水の適正管理	・日常目視点検 ・排水の目視点検、日常点検
3. 農薬管理による環境汚染の防止 ・コース内排水の管理 ・農薬の適正使用	・排水の測定による管理 ・選択・保管・使用方法の再検討
4. 廃棄物の削減とリサイクル化の推進による地球温暖化防止 ・二酸化炭素排出量 0.5%削減 ・分別・廃棄数量の把握 ・リサイクル数量の把握	・分別の徹底による廃棄物の削減、梱包材等の簡素化、納入業者の持ち帰り等 ・燃えるゴミ・生ゴミなどの排出量の測定 ・ビン・カンなどの排出量の測定
5. 緑化の推進による地球温暖化防止 ・森林の活性化による二酸化炭素の削減	枝剪定、下草刈り、間引き、植栽及びチップ化



チャリティ活動

コミュニティ対応

チャリティーゴルフ

愛川町チャリティーゴルフ大会

(30回開催)

愛川町民ゴルフ大会

(28回開催)

国際ソロプチミスト愛川

(18回開催)

相模原市田名地区チャリティーゴルフ大会

(22回開催)

相模原市城山地区チャリティーゴルフ大会

(27回開催)

ゴルフスクール

愛川町ジュニアゴルフスクール (17回開催)



周辺住民との養豚場建設反対運動

